



2024～2025年度 山形東ロータリークラブ会報

第1652回例会 2025年4月11日(金)

点鐘 / 18:30 S.A.A. / 工藤 裕史
会場 / 浜なす分店

Rotary
第2800地区



RIテーマ RI会長: ステファニー A アーチック
ロータリーのマジック

地区目標 ガバナー: 芳賀 康雄
ロータリーにもっと誇りをそして学び DEI の心を持って行動実践しよう

クラブテーマ 会長: 深瀬 俊路 幹事: 菅生 勝則
「シン・ロータリークラブ ピア・ロータリアン ハブ・ロータリー」

会長挨拶



深瀬会長挨拶

こんばんは。今日は当クラブの観桜会です。2月の開花予想では、名前ばかりの花見ではなく、まさに真っ盛りでの宴席となり、気分が盛り上がっているはずでした。

気候の温暖化により、生活のリズムが変化してきています。4月4日は、「清明」

でした。春めく季節が一層進むという意味です。この清明は「掃墓月」という言い方もあります。お墓を掃除するに適した時期になった、ということです。春彼岸まではお墓に直接お参りすることが叶わなかったが、雪も溶けてきて、お墓の周りに生え出した草取りをする時節という意味です。

山形では、秋彼岸の頃から春彼岸まではまず生花をお供えすることができませんでした。ですから、木工細工の彼岸花、笹野花、金蓮華をお供えしてきました。それが、花卉の温室栽培が進歩し、物流が発達したため、一年中、生花をお供えできるようになったのです。

よくお葬式の時「本家は金蓮華を献じるべき」といわれますが、これも生花を入手するのが困難だった頃の名残です。ですから、お葬式という急な事態に生花は簡単に入手できるしろものではありませんでしたし、花屋さんの店舗もさほどなかったと記憶しています。そのため、貴重な生花を会葬した近親者のお分けすることには、かなり重みがあったといえます。

そういう冬の暮らしを経て、桜が花開く季節を迎えることができた、よろこびが街中に漂っていることに、みなさんは本当によろこびを感じていますか。花屋さんに注文しなくても、咲き誇る春の象徴。入学式を祝福してくれる花。そんな印象を私は持っています。

江戸の街づくりにも人工的にソメイヨシノが植えられ、現在も桜の名所になっています。これと同様に、山形の桜の名所にも当てはまると思います。RI 会長が提唱する「ロータリーのマジック」は一朝一夕で成り立つものではありません。土壌を整備し植樹をし、毎年手をかけ慈しむことにより、桜の大樹は育つのです。

幹事報告

5月10日山形市内7RC 親善ボウリング大会の参加申込が18日となっています。大勢の参加をお願いします。

観桜会



出席情報

	会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日	26名	—	17名	—